夕刊
磐城新聞
七月二十六日發行
定價 一ヶ月金六十五錢
發行所 磐城新聞合資會社
（日曜祭日翌日休刊）
東京振替一〇八・五五六五番

天氣豫報 小名濱測候所觀測
今晩は南東の風曇
明日は南の風曇後晴

野麥社主催
市制祝賀俳筵
題＝炎天、風鈴、百合の花
（昨二十五日市内松堂院に於て）

渡邊何鳴
○炎天の機械の油にほひ來る
○青潮の渦を眞下に百合咲けり
○海の碧百合咲く山のはざまより
○炎天の業いそしみて闘志あり
○百合咲いて關の古道懐しき

鈴木欣々子
○百合の香をみちびく月が昇りけり
○風鈴に朝のみどりが窓に來る
○風鈴にけはしき雲の襲ひ來る
○百合にはふ草すれの音を聞き憩ふ
○百合匂ふまだきの靄が瀬に湧けり

佐藤紫雨
○炎天の定齋賣りの來りけり
○風鈴へ道行く人のうつりけり
○炎天の石が乾せてる虫の骸
○風鈴へ河風めぐる住居かな
○幕隅に飲めぬ井戸あり百合の花

金成磐洲子
○風鈴の風あり吾々にとゞかざる
○炎天や皇軍の兵見送れる
○白百合に薄霧たちて谿淡し
○百合折れば衣につき易き花粉なる
○病室の風鈴鳴れば足りてゐる

金成水棹女
○百合の風窓の高さに匂ひ來ぬ
○風鈴に音なし午後を眠くゐぬ
○風鈴にたまさかの風渡りけり

伊藤寒山子
○炎天のどくだみひきて子らはだし
○炎天の雲照り竪坑眞白なる
○髮解けば山百合の花粉散れゐし

石橋柴子
○雷迫り風鈴の音の冷え來り
○炎天に花舗は日覆を深く垂れ
○百合の香に目ざめ氷嚢ぬるくあり

大和田水明
○斷崖に吹かる霧や百合の花
○炎天やペンキ流るゝトタン塀
○雜草のさやけき色や百合の花

赤津千町
○狂ひ女の風鈴投げし宵の中
○子ら散つて風鈴賣りの荷をあげし
○斷機や炎天を行く顔と顔

佐藤雪行子
○百合の花咲いて代々の墓どころ
○生けてある船長室の百合の花
○炎天や動くものなし墓靜か

赤井嶽男
○湯疲れにけふも風鈴聴いてゐる
○百合さしてリユックサックが下りて來し

金成喜山郎
○風鈴に雲さはがしくなりにけり
○風鈴に潮よりの風ほしいまゝ

金成高原子
○百合の花ほつ〳〵見ゐて霧はるゝ
○風鈴に馴れてしばしの間を讀みぬ

下山田涓至
○風鈴を見上げて叫ぶ子を抱きぬ
○炎天の軒に八つ手の潤葉かな

夏晨
島田忠夫

○あかときと白みそめたる窓にしもまぢかくひゞく朝蜩のこゑ
○おぎろなく朝吐くいきのしろく見ゆ蜩をりて鳴とよむ庭
○朝にはにあをく垂りたる萩ほそし霧ふるが見ゆみぎりのうへに
○露くさのしどろがなかにこの朝け蕾はぐるる白芙蓉のはな
○うつそみの命よわりてきくものか朝ひぐらしよ窓にこだます

社）

夏の夕
玉垣芯子

ひそやかにゆうべが
夢をのせて――
おゝ灯を戀ふ蟲よ
遠く仄かに――
聞ゆる木の葉笛
あはれ――

消息
○北原白秋 改造社新萬葉集選歌の爲め、當分引籠る由

偶成
珠雲 小野務平

前夢醒來悔恨多
哀々幾誦蓼莪歌
青燈緑酒誤身大
意馬心猿如我何

7月27日
△幕府町人の長脇差を禁ず（天保一四）△武藤元帥歿（昭和八）△佛劇作家デュース生る（一、八二四）

寄贈書目
△法律新聞二十日號（一部税共十錢五厘東京市日本橋區本町四丁五の五 其

講談
妖刀流轉（えうとうるてん）
(149) 邑井貞吉演 佐々木今朝吉畫

惡漢の惡計（一）

この狂人の及物騒で一番馬鹿を見たのは與四郎で、おろく婆アさんの所へ小遣の無心に來て、臺所で話してゐる中にこんな騒動が始まり、側杖を食つて新太郎の刀の錆となつた

新左衛門病床ながら氣の毒に思ひ、おろく婆アさんに與四郎の家を尋ねると、板橋の先の白子だといふから、早速に人夫を雇ひ、おろくが附添つて與四郎の亡骸を届け、新左衛門も倅の亂心からこの者を手にかけたと有つては捨て置く事も出來ませぬ故、金子二十兩を取敢ず香奠としておろくに持たせてやる

與四郎の親父は與兵衛といふ百性で、兄三人が有つて與四郎は末つ子、百性を嫌れて遊び人になる位の道樂者だから、村内でも餘り對手にされては居なかつた親として見れば、そういふ子ほど不憫が増すものと見え、凶報を聞いて大いに驚き、老人の與兵衛が與四郎の亡骸に取縋り

老『われマア何と淺ましい姿に成つたぞ、兄等三人と同じように眞面目にせえしで居てくれゝば、こんな事に成るめえものを、いくら叱つても意見しても、ヤクザを止めねえものだから、とう〳〵非業な最期を遂げ乃公に逆様に歎きを見せたか』

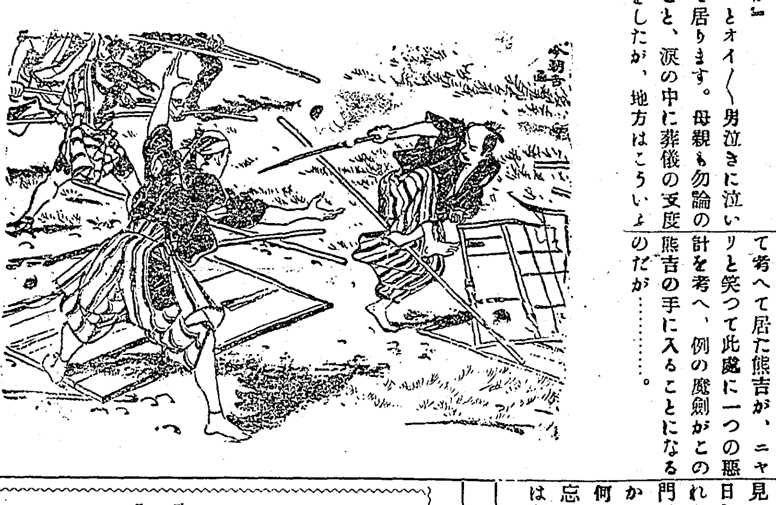
とオイ〳〵男泣きに泣いて居ります。母親も勿論のこと、涙の中に葬儀の支度をしたが、地方はこういふ事になりますと村中が一同で手傳ひに參ります、誠に親切なもの

ところへ此事を耳に致しましたのが、大和田の在で亡き兄藤作の跡を引受け、少しばかりの財産を相續した向挑の熊吉で、元より堅氣の農業などしようといふ心持は微塵もない、相變す博徒でその日を送りながら兄の仇傳五郎に廻り逢つて復讐をしてやらうと云ふ怨みの念は忘れません、絶へずその在所を探して居るが大島の行方が判らない

すると與四郎が麻布古河の青木甲斐守お屋敷へ行き家中の中川新左衛門の所で新太郎の手にかゝつたといふ事を聞き、兄弟分の事だから驚いて悔みに來た、今夜は通夜だといふので取込んで居ります、おろく婆アさんも手傳つて居る。熊吉がそれへ來て挨拶をすると

ろ『マア熊さんでしたかお久し振り、お前さんもお變りがなくて何よりだが、此處の與四郎殿は氣の毒な事で御座んした、聞いて下さいましコレ〳〵で』

と與四郎が新太郎のあばれるのを止めようとして、斬り殺された當時の有様を詳しく話した。思へば惡い奴に聞かしたもので、默つて考へて居た熊吉が、ニヤリと笑つて此處に一つの惡計を考へ、例の魔劒がこの熊吉の手に入ることになるのだが………。



此方は中川新左衛門、倅新太郎の爲めに左の片腕へ深くも斬り込まれ、早速醫師を迎へて手當を加へたが何分重傷でありますから、其儘我家で療治を致し、新左衛門は病床に呻つて居ります

御新造は先年亡くなり、老婢のおろくは與四郎の亡骸へ附添つて行き、外に人手のない家だから、平素別懇の間柄にしてゐる用人の齊藤茂十郎の所から、女中を手傳ひによこして呉れ、新左衛門の妹に當る隣家鈴木の妻女も、時々手すきを見ては看病に參ります。今日なら入院といふ所だがそれも成らない、然し新左衛門、自分の病苦よりも心にかゝるのは新太郎のこと、何うなつたかと傷の痛みも忘れて心配して居りますのは親心さもあるべき處

廣告

初夏の氣分と
行届いたルーム
お出を
お待ち致します。
珈琲と
御食事
グリル バッカス
電七〇二
女店員募集
全部給料制度
品位良き方を望む
經驗無き方も良し

中古各種レール鐵管
礦山用機械器具類
製鐵原料問屋
二大製鐵會社特約店
海軍工廠御用達
鋼鐵 機械
KS 井尻七三郎商店
福島縣平市鍛冶町十一
電話五二二番
御買上品精々御安く納品致します
御拂下品は精々御高値に買受ます

内臓外科一般（入院隨意）
外科花柳病科
平市六丁目（橋際）
木村外科醫院
電話三〇九

入院隨意（自炊の便あり）
外科專門
X光線科
平南町
上田醫院
病室完備
（電話一二九）

サンマーニュース
仁暑さの砌り皆々様御機嫌お伺ひ申上ます……。
弊店が今夏より
アイスクリームを始めます。
フランス風（純良クリーム使用）
ナポリタンアイスクリーム
の上品さを御賞味下さいませ。
廿二日賣初め 御一人様 十五錢
配達は迅速に致します。
おみやげ用として三人様入
美しいホームパツクも御座います。
常に味を誇る――
松月堂
平市銀座通
お電話二〇六番へ

鮫川砂利採取及販賣
砂利…川部村沼部
砂利採取揚場…山田村法田
玉石…植田鮫川橋下
貨物自動車運搬業、有價證券、株式債券賣買及仲介、商品依托販賣、千代田生命、千代田火災保險代理店
常磐線植田町
植田物産株式會社
取締役 山崎登
電話三一番
各種貨物一般及重量機械類運搬取扱
石城郡錦村中田
植田物産錦出張所
電話（植田）一三五番

吸入用酸素 純度99%
度量衡
モノサシ
マス
ハカリ
計量器
体温器
寒暖計
開内藥局
電話四〇番

新築落成
外科（内臓外科及一般外科）
X光線科、花柳病
内科、小兒科
岩手醫學士 萬波勘
院長 前田清美
前田醫院
植田町本町電話一二四番
（自炊ノ便アリ 病室完備）

和洋
建具
家具
テーブル
椅子
其他裝飾品一般……
御用命は迅速に御努め致します。
諸官衙
各學校
御用達
製作販賣
平市五丁目四
片寄製作店
片寄小彌太
電話四八四番
十五、六歳以上の見習徒弟募集
御希望の方は至急申込下さい。

夜間診療
胃腸
性病
内科
胃腸病科
花柳病科
性病科
皮膚科
専門
松村胃腸性病科醫院
（平市南町 電一〇七番）
（見習看護婦募集）

男女學生夏服
高嶋屋の洋服
新柄背廣
レンコート
注文並ニ既製品
高島屋
平市二丁目
電話三八六番

互融會事業近況
電話五五五番お忘れなく
事業報告昭和十二年六月中
融通口數 一七三口
融通金額 八、八九五、五〇
滿期拂戻金額 四四口
滿期拂戻金額 二、四三〇、〇〇
概況昭和十二年六月末現在
會員數 七、五六六口
會員世帶數 四、九九二戸
積立金額 九一、一一〇、四〇
融通金額 三三、一一九、〇〇
回收金額 四五、五〇五、八〇
滿期拂戻口數 二八〇口
滿期拂戻金額 九、八五五、〇〇
一、社會公共事業及慈善事業ヘノ奉仕
一、精神修養講話會
一、會員ノ吉凶慶弔
一、會員相互見舞
一、人事相談及婚姻ノ媒介
一、診療救血ノ補償
一、税金ノ代納事務取扱
一、會報發刊
一、勤儉日積立金ノ奬勵
一、小資本金ノ相互融通
太平火災海上保險株式會社平中央代理店
石城中小商工互融會
事務所 福島縣平市揺槌小路一番地
電話五五五番
小名濱方部 小名濱町古港
湯本方部 湯本町裏町
菊田方部 植田町濱町
相双支部 原町東一番町

月曜論壇

夏祭りと世話人

暑熱のうだりを夜涼に逃避する人々の爲に煙火美しき夏祭りこそ最も恵まれた安息の緑地帶である。祖先以來の傳統を忠實に踏襲する古風の給行燈も良ければ萬斛の凉味を滿喫し乍ら眺めるニュース映畫も惡くない。即ち昔乍らに横溢する野趣に著しき近代色を加味した最近の夏祭りは今や立派な大衆行樂の催しとして其の健全なる發達を祈念して止まない。而も催しの上に此際重大な役割を勤むる所謂餘興がより尖端を目指す處から所要經費の增大は餘りに當然な結論であり、之れが分擔は或る程度迄地元住民の上に課された一の町內つきあひと云ふべきものであるが、之は終始其の最少限度を目標とすべきで殘務整理の慰勞費等を必要以上に捻出せんとする爲關係地域の住民に轉嫁するが如きは、少くとも敎養ある町內の中堅人物として飽迄之を避くべきである。這般を斡旋する階級に之の心構へがあつてこそ吾人は滿幅の夏祭り禮讃を敢てするものである

納涼會にお願ひ

夏祭りと同樣の意味に於て昨夏以來好評を博して居る公園の『螢光納涼會』に大贊意を表する。たゞ之際吾人をして一言望蜀の云爲を許すなれば、當夜參會の老幼に對する涼風團扇の分配に一層の公平を期して欲しい一事である。即ち芋の子を洗ふ現場の混雜に奇貨措くべしとなす些か純眞味を欠いた子女は犇めく人波に揉まれ乍らも之を貰つては雜沓の圈外に待たせ置く一味のものに保管せしめ之を反復する事何回、而して下劣な滿足に蕪る反面に於て折角の納涼氣分を兒女に味はせんとして出向いた節制ある紳士淑女等は終に之を受くるの機會を與へられずに終るなど實に氣の毒なものがあつた、狡猾なる子女の訓戒を各家庭に望むと共に同會に對して次會からの改善を望み度い

議長＝參事員は誰？ 愈よ明日平の初市會
傍聽人超滿員か

顏ぶれに繫ぐ興味

明朗市政の序奏として躍進平市政史の初つ筆を飾る最初の平市會は愈々明二十七日午後一時から招集される議案は正、副議長と市參事會員の選擧──と云ふ豪華版的市會座丈けに夙くも全市民の關心は總動員されて明日の開幕を待ち遠しがつて居る前景氣から推して、暑熱にうだる多數傍聽者の殺到が今から想像される。而も町時代にもあつたとは言ふものの、其れとは大に機構を異にする市會正副議長と之は町會には全然見られなかつた特異の存在たる市參事會員、蓋し果して何人が擧げらるる事か？、根が最初の市會な爲に一般の關心も深く市民の目はいま息詰まる緊張を以て該問題の上に注がれてゐる

涼味萬斛の境に名吟佳句を競ふ
市制記念俳句大會

野麥社主催、東日通信部及本社後援の市制祝賀記念俳句會は既報の如く昨二十五日の日曜をトし午後一時より灼熱の巷とは遙かにかけ離れた市內古鍛冶町の松堂院本堂に於て開催したが、出席者約三十名

炎天。風鈴。百合の花。

の席題通じて六句を互選の

（一七點）渡邊何鳴　（一二）鈴木欣々子　（一〇）佐藤紫雨　（七）金成磐州子　（六）鈴木水棹女

の成績で夫々賞品を贈り蟬の聲雨の如き幽閑の境に一日の淸興を悉くし五時盛會裡に散會した、席上吟中入選句一面所載の通りである

獻金募集を利用し 密かに私腹を肥す
平署斷乎取締に着手

世を擧げて獻金！獻金の時代を現出してゐる昨今の機會を覘ひこの獻金募集の美名にかくれて手數料、手當等の名目で二圓、三圓と蒐集した資金から削りとり、ひそかに私腹を肥してゐるものがあるので平署では斷乎取締の任に當ることとなつた

尙今後は市民の負擔を慮り團體的催しも出來得る限り重複しない方針を取るらしい

總花主義強調
市參事會員數に
漫談めいた條例設定說

曩に五十一名の立候補に『一その事あと九名出て貰つて六十人となつた處を、二年で交代する約束で全部を當選させる事にしたらどうか……』と云ふ珍案もあつたが、今度は隔年選擧する事になつてゐる市參事會員に就て『條例が認められさへすれば十五人にする事が出來るのだから十五人宛二年交代の總花主義も出來ない相談ぢや無い……』と云ふ極めて捌けた方法を考へて居る人もあるそうだ

兎まれ沸騰的大人氣のアトラクションに明日の初市會こそ、丑の日の四倉海岸の樣に大入滿員の盛況を呈するであらうと覗られてゐる

高潮する愛國熱

訓盲院生 獻金作業開始
料金は半額の廿錢

國防を充實せよ！の聲に刺戟された磐城訓盲院の生徒さんは既報の如く暑中休暇を利用し昨二十五日から獻金作業に着手した

毎日午前八時から午後四時迄（受付は正午限り）一般の來訪を求め鍼按マッサーヂ、揉み療治共半額の二十錢で依賴に應じてゐる

この奉仕作業は來月二十日迄續けられその收入を獻金することになつてゐる

獻金寄託 其後の分

市內紺屋町渡邊善吉さんは二十圓、平染物業組合員一同で十圓、磐城佑賢學舍では二十圓七十七錢を何れも市役所へ

○

磐城礦業株式會社好間礦業所從業員一同で金百五十圓を皇軍慰問金として東日平通信部に寄託、市內紺屋町渡邊マツさんは十圓を同上

○

品川白煉瓦株式會社湯本工場で八十三圓六十錢、磐崎村第一校では今春以來蒐めた銀紙代十圓を、市內北目町高橋三郎さんは三圓を何れも東朝平通信部に寄託

平驛の―― 乘降は約三倍 丑の日賑ふ
改札子の嬉しい悲鳴

きのふ丑の日は朝來の快晴に惠まれて石城七湯はドッ！と夏の逃避客で大賑ひ――この日平驛で四倉、久の濱への切符賣上高は千九百九十四枚で昨年の丑の日の三倍以上に上つてゐる、更にこの日の乘降總數は八千六百六十四名（乘四、二二八名、降四、四三六名、運賃一、三一九圓）で昨年同日の約二倍、平日に較べれば約三倍に上つて出札子を惱ませた

尙四倉への回數券賣上は三十四冊で十枚一と組だからこの利用者は三百四十名であつたわけだ

菜種標準値昂騰

郡內菜種の第一回共販は二十五日市內農業倉庫で行つたが三等標準値は十三圓二十錢で昨年に比し二圓七十錢の奔騰を示したこれは軍需關係の需要が著しく增加してゐる上日支事變による先行きの拂底を見越されてゐる結果である

尙二等は十三圓五十三錢

一等十三圓六十六錢、等外十二圓八十七錢に決定

。。。。。第二校珠算競技　平第二校では二十六日五年以上の珠算競技會を催した、成績は二十七日發表

磐中四位、平商九位
縣下中等校陸上競技

縣下中等學校陸上競技大會は二十五日喜多方中學校グラウンドで擧行されたが出場二十校、磐中は十九點で第四位、平商は十二點で第九位であつた

百米2磐中渡邊武治　△八百米1二分十一秒平商金成久吉　△八百米繼走3磐中チーム　△砲丸投3磐中齋藤武　△棒高跳6平商山家與行　△走巾跳2磐中本鄕淸一　△走高跳1一米六〇磐中小野房　2平商西山正之

郡第三區兒童競技
新記錄一種目

郡下第三區小學兒の陸上競技大會は二十四日磐中グラウンドで擧行、參加十六校約五百名で新記錄は五年男子四百米繼走五九秒五（平第三チーム金成俊男、青木政行、殿塚輝男、根本正）の一種目のみであつた

夢は儚し―
女飛行士志願の 若い女自殺（未遂）
ちよさん淚の歸鄕

川部村沼部鶴治長女櫛田ちよ（二五）さんは二十三日水戸線上り列車內で服毒、同町行幸町安藤醫院で一夜を明かして漸く意識を回復し急報によつて駈けつけた父親鶴治さんに護られて歸鄕した、笠間署福田部長に語つたちよさんの自殺の原因は

土地の小學校を卒業後夢多い廿才の青春、ちよ子さんの憧れは女流飛行士になることだつた、航空日本の躍進を反映して、この乙女の胸は空翔ける希望に滿たされ切つてゐた、だがもとより豊かな家庭ではなし親の反對も猛烈だつたので『自分の力で飛行士になつてみせる』と悲壯な決心を抱いたちよさんはその年吾が家を飛び出して東京に出たものの田舎娘の悲しさ有名な飛行家の門を幾度か叩いたがすべては徒勞だつた、東京から大阪へ、女中つとめなどをしながら轉々するうち五年は夢の間にすぎた、しかし飛行家になりたい希望は歲と共に燃ゆる、だがこれほどの願ひも到底叶はない現實を知つたちよさんはこの割り切れない心を死によつて淸算しようとしたものである

泥醉・小便喧嘩
海軍ナイフでグサリ
昨夜丑の日の副產物

豊間村八幡町土工鈴木淸太郞（三九）は二十五日夜十一時半頃土用丑の燒酎に醉つて同字を通行中これ亦泥醉して通りすがつた同村漁夫佐々木仙之助（三八）に小便をかけられたのに憤慨した淸太郞は懷中してゐた海軍ナイフで仙之助の右大腿部に要一ケ月の傷を負はせて平署に檢擧、被害者は目下市內上田病院で手當中

。。。。。第一校遠足會。　平第一校では二十七日全校兒童の遠足運動會

。。。。傷害に十圓。　錦村大倉職工田村信（二四）は去る六日夜同村鈴木直芳を鉈で十日間の傷を負はせ二十六日平區野木判事から略式で科料十圓

。。。。。ハッちゃん溺死。　湯本町關船安藏長女高木ハツイ（八）ちゃんは二十四日午後二時半頃附近の堤で水遊び中誤つて溺死

。。。。。僞名橫領に二年。　既報。葬具店の品代橫領犯人―香川縣三豊郡生れ前科二犯山口梅太郞こと曾利直一（三八）は平區中島裁判長から求刑通り懲役二年を言渡された

。。除隊。　市內上平窪字兵似井根本逵夫君は仙臺輜重兵第二聯隊を除隊し二十七日午後零時四十三分平着で歸鄕

引潮に呑まる
四倉で 昇君遭難

市內一丁目下駄商相笠鶴次郞氏長男昇君（二四）は昨丑の日友人一名と共に四倉へ行き午前十一時頃水泳中引潮に淩はれて行方不明となつたので大騒ぎとなり地元青年團消防組員が必死となつて捜査に當つたが依然判らない、一丁目青年團でも直に捜査に赴いた

。。。。第二校舞踊會。　平第二校では二十九日午前九時から舞踊會

。。。。。中堅女子部講習。　石城中堅農民講習生女子部は來月四日小名濱町で現地講習

投檜（投書歡迎）

夏の夜の吃驚箱？。。。。。

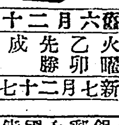
◇花火と云へば私達の小さい頃はマア線香花火位が關の山であつたんだが、このせつでは恐ろしくでかい音をたてるやつがある◇ついこの間、錢湯を出て夕涼みがてら、とある街角にさしかゝつた處ちき足許でドカーン！とやられて思はずギクリとした、大人でさへかうだから小人などはどんなに吃驚することだらうと傍でせせら笑つてゐる番頭風の男のつらをじつと睨めつけてやつた◇だからと云つて私は夏の夜の慰みである花火遊びをやめろと云ふのではない、たゞこんな大きい音をたてるやつは場所を辨へて欲しいのだ、世の中には氣の小さい人もあるからネ　（Ｋ町由利生）

―凉み臺―　◇年に一年のお盆もあと一と月足らずに迫り飯野村邊りの杜かけからそろ〳〵チャンガラ練習の音が聞えて來る頃となつた◇鎌田遊廓では數日前からも踊りの練習を始め毎晩

方、五時頃になると三軒の大太鼓が一齊にドコドン〳〵と威勢のいゝ盆の前奏をはすませてゐる

しん妓　三島家から駒千代がお披露目した。すつきりした納凉藝者、團扇持つた後ろ姿など得も云はれぬ風情があるとの評判が高

二十七日（小名濱潮汐豫報）
滿潮 前六、〇〇 後七、〇五
干潮 前〇、二〇 後〇、四〇



舊六月二十日　火曜　乙卯　先勝　成　尾宿　新七月二十七日

略判定運勢　東京市本鄕區湯島四丁目　高島易斷總本部　神誠館

▲一白　大志をいだき目的に向ひ開拓に努むるに吉▲二黑　評を立てられて行動ににぶりを生ずべき日▲三碧　忍苦は一時に過ぎず幸慶到來を待つに吉し▲四綠　目上の反感は出世の道をふさぐ憂なきを失ふな▲五黃　一瞬の喜びに滿足すれば後の勞くは繼續す▲六白　微細なきずより全身に痛の廻る如し輕視すな▲七赤　進退共に損害を免れざるべし普請轉宅亦凶▲八白　紛紜さく雜の日定業を守りて動かぬが吉▲九紫　堅實に努力する所あらば事業自ら展開の日

女店員募集

一、人員　貳名
一、年令　十八歲以上二十三歲迄
一、通勤　市內ニ居住シ家族ニ監督者アル人
一、身体强壯身元確實ナル事
一、高等小學卒業又ハ以上
一、履歷書本人持參ノ事
一、給料其他面談
一、電話ニテノ申込ハ御斷リ

平市三丁目　丸はん商店　電話三五九

職員募集

一、人事係　內勤一名　外勤一名
一、廿歲ヨリ卅五歲位迄体强、想健活動的人物ヲ求ム
一、給料卅圓以上
一、履歷書提出ノ事（特技附記ノ事）

福島縣石城郡赤井村（小川鄕驛）　福島炭礦　電話西小川局呼出

諸機械製作販賣　合名會社　田邊製作所　平白銀町（驛前通）　電話二九四番
機械切各種齒車製作

廣告

第二期決算公告

昭和十二年六月三十日現在　貸借對照表

資產（借方）	金額
現金預勘定	一七一、九四五、三六
現金	三、九一四、一九
銀行預ヶ金	一三三、〇八七、三七
郵便貯金	四、九四四、〇〇
有價證券勘定	三五、三一三、五五
國債	一、五一〇、七五
債券	四二、〇〇
株式	三三、七六〇、八〇
貸付金勘定	一六八、九三三、一六
不動產擔保貸付	四、二六四、七〇
拂込金限度貸付	一四八、六五四、五九
給付金限度貸付	一六、〇一三、四七
未收無盡掛金	一八二、六九三、二五
假拂金	四、七一四、九五
不動產	四、一一八、一四
營業用土地建物什器	二四、五六五、七七
株主勘定	七五、〇〇〇、〇〇
拂込未濟株金	七五、〇〇〇、〇〇
合計	六七五、二八三、九八

負債（貸方）	金額
未拂無盡給付金	六四、四〇〇、〇〇
未拂入札差金	八、四三八、六一
未拂解約返戻金	一三、八三五、三九
無盡給付資金	三三二、一七六、九三
假受金	六〇、三一四、五九
日掛假受金	三五、六五三、三五
集金員勘定	一、九九〇、八六
期限未經過掛金	四七、六五八、九七
加入申込證據金	二〇七、四〇
社員保證積立金	三、二二九、五七
株主勘定	一〇四、六〇四、七七
資本金	一〇〇、〇〇〇、〇〇
法定準備金	一、〇〇〇、〇〇
特別準備金	五〇〇、〇〇
建築積立金	五〇〇、〇〇
社員退職給與基金	二、六〇四、七七
當期利益金	二、七八三、五四
（內前期繰越金）	（三二四、八三）
合計	六七五、二八三、九八

當期利益金貳千七百八拾參圓五拾四錢之ヲ處分スルコト左ノ如シ

法定準備金	金八百圓也
特別準備金	金五百圓也
社員退職給與基金	金四百圓也
役員賞與金	金貳百圓也
配當金（年四分ノ割）	金五百圓也
後期繰越金	金參百八拾參圓五拾四錢

昭和十二年七月二十五日

平市　磐城無盡株式會社
專務取締役會長　小宅鼎久治
常務取締役　野內彌富
常務取締役　豊田豊治
監査役　渡邊大
監査役　有賀幸太郎

當期契約高　六、三五五、二〇〇、〇〇

平市南町　上田醫院　電一二九

平市驛前通り　高柳醫院　電三三六番

吉田眼科醫院